

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表日：平成31年2月12日

事業所名 音楽なかもりE（児童発達支援）

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容、改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			活動の内容それぞれに合わせたスペースを確保しています。
	2 職員の配置数は適切である	○			体制のさらなる整備のため、職員の募集を継続しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			建物の性質上、エレベータ等、施設全体としてのバリアフリー化は難しい状況ですが、レッスン室内においてはできるかぎり、ご利用の皆様様に配慮した環境整備を行っております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっている	○			ご利用の皆様様に配慮した設備整備を目指しております。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			定期的に行っている職員ミーティングをさらに有意義に活用できるよう努めてまいります。
	6 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			保護者アンケートを実施を継続し、今後も保護者の皆様のご意見、要望に応えられるよう努めてまいります。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			今後もホームページにて公開してまいります。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			外部講師による評価、指導を受けることで、現在のサービスの内容を検証し、さらなる改善を目指しています。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			定期的に（年平均で月1回以上）、外部講師を招いての研修会を実施し、職員全員で受講しております。今後も資質向上を目指し、継続してまいります。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			お子様、保護者の皆様様のニーズや課題を、よりの確に把握できるよう情報の共有に努めます。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移動支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			チーム内で検討し、より質の高いプログラムの立案を目指しております。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		積極的に季節感やお子様のご希望を取り入れております。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集合活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	19 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
20 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表日：平成31年2月12日

事業所名 音楽なかまブリ（児童発達支援）

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容、改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			保護者様を通じて、情報を共有し、体制をさらに整えてまいります。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			
	25 移行支援として、保育園や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			研修の回数を検討する等、連携を強化できるよう努めてまいります。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○			一緒に活動できる企画等を回数を増やす等検討してまいります。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			参加できるよう努めてまいります。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			保護者様との情報共有のための体制をさらに整えてまいります。
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）等の支援を行っている	○			研修会実施のご提案、また、保護者の皆様からのご要望に合わせて研修会を実施しております。	
保護者様への説明責任等	32 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			よりわかりやすい説明を心がけ、疑問点等なくご利用いただけるよう努めてまいります。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援の内容の説明を行い、ほどこから児童発達支援計画の同意を受けている。	○			
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			より積極的な支援を心がけます。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			より参加しやすい会となるよう努めてまいります。
	36 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		事業説明会を定期的に行っております。	行事予定は、随時掲示板、ホームページでの掲載を行っていますが、さらにこまめな情報発信に努めます。
	38 個人情報に十分注意している	○			
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			伝達に漏れのないよう、体制を整えてまいります。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			活動の周知や、参加しやすい行事の企画を努めてまいります。

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表日：平成31年2月12日

事業所名 音楽なかまブリE（児童発達支援）

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容、改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			各マニュアルの周知を進めてまいります。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			年2回（5月・10月）、避難訓練を実施しております。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作当のこどもの状況を把握している	○			
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		保護者からの聞き取りによる内容を職員に周知し、個別に対応しております。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハットの事例については情報共有のうえ、対応策を講じております。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			現在まで身体拘束を行う必要のあるケースはございませんが、適切に対応してまいります。